

## 第2次裾野市環境基本計画の評価結果（令和3年度進捗状況）

### 1. 概要

「第2次裾野市環境基本計画」の令和3年度の環境に関する取組み内容の進捗状況について裾野市環境審議会（環境審議委員6名）において評価を実施。

実施日時：令和4年12月16日（金）

9：30～11：30

場 所：裾野市役所 地下会議室A・B

### 2. 評価方法

環境目標ごとに下記の区分で環境審議委員が評価。

区分	進捗状況
A	環境目標(2025年)を達成するために、順調に進捗している
B	一部遅れはあるものの、目標の達成が見込まれる
C	より一層の推進を要する

### 3. 結果

Aを3点、Bを2点、Cを1点とし、環境審議委員の評価点数の平均を評価基準に従い総合的に評価。全体評価は環境目標1～5の平均ではありません。

評価基準 A…2.5～3, B…1.5～2.4, C…0～1.4

環境目標	平均	評価
1. 【安全・安心】 安全・安心で快適な環境のまちづくり		
(意見) ○下水道普及率、水質汚濁に係る環境基準達成率は計画目標に向けて取り組みが行われている。一方、有収水量については抜本的な対策が必要である。 ○下水道区域については、縮小を含めた検討が必要である。 ○コロナ禍の影響で河川清掃の参加者は少ないものの、他の項目は、ほぼ達成されている。 ○河川清掃などは、地区での意識が非常に高い。 ○環境指標の『大気汚染・悪臭・騒音・振動・水質汚濁の苦情件数』は、野焼き対策を行えば、令和7年に目標達成する見込みがある。	2.8	A

<p>2. 【自然共生社会】 豊かな自然と人が共生するまちづくり</p>		
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○間伐事業実施面積は計画達成に向けて着実に実施されている。一方、景観については市民の満足度は低く、市民の要望に沿った取り組み(都市公園整備)が必要である。</li> <li>○耕作放棄地対策については、再度検討が必要である。</li> <li>○各地域の特性を活かしたまちづくりが今後必要。人口減少への対策としても進めていくことが重要である。</li> <li>○耕作を放置している地主に、方向を示すアドバイスを。</li> <li>○行事参加者数はコロナ禍が収まれば、目標達成の見込みあり。但し、耕作放棄地対策は、裾野市の特徴を考慮し、土地利用全体の見直しと合わせ検討が必要。</li> </ul>	1.8	B
<p>3. 【循環型社会】 環境負荷の少ない循環を基調とするまちづくり</p>		
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての項目において計画達成に向けて取り組みが行われている。</li> <li>○ごみのリサイクル循環をしやすいシステム作りを更に進めていく必要がある。</li> <li>○市民の環境意識が高く、減量化が進んでいる。更なる減量化に向け、プラスチック削減、リサイクル対策を今後も進めていくことが必要。</li> </ul>	2.7	A
<p>4. 【脱炭素社会】 地球温暖化防止に努めるまちづくり</p>		
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会情勢の急激な変化により、計画達成が困難となる項目が存在すると考える。</li> <li>○CO<sub>2</sub>排出量については、市全体の値を示すことは難しい。</li> <li>○蓄電池や燃料電池の廃棄後のリサイクル技術を早期に確立することが望まれる。</li> <li>○市民が温暖化防止に関心を持つような取り組みを。</li> <li>○環境指標の『燃料電池システム延べ補助件数』は目標達成が難しい。環境指標の『次世代自動車普及率(市全体)』は目標達成に向けての課題が多い。</li> </ul>	1.8	B

<p>5. 【環境教育】 持続可能な社会を実現するための人づくり</p>		
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ禍の社会状況の中で、参加者数を指標とした目標は達成が困難な状況であるが、全般的によく取り組まれている。</li> <li>○環境活動登録団体を増やす工夫が必要である。</li> <li>○コロナ禍と共存した環境教育方法の取り組み(リモート等)の普及が望まれる。</li> <li>○若者と有識者との関わりが大切である。</li> <li>○環境活動登録制度の向上策としては、登録制度の簡素化や、『きれいなまちづくり推進事業合意団体』などに登録を持ちかけてみるなどの検討を。</li> </ul>	2.0	B
<p><b>第2次環境基本計画 令和3年度進捗状況(全体評価)</b></p>		
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○進捗状況については、横ばいと言ったところ。農地・林業対策や土地利用方針の抜本的な改革。</li> <li>○脱炭素社会や循環型社会へのより一層の推進に向けて、更に高い目標設定とそれを実現するために、官民一体となったPR、実現方法の検討が必要である。</li> <li>○もう一步の段階に位置している。</li> <li>○達成が難しい項目も出ているが、施策の追加、見直しをすれば可能と考える。</li> </ul>	2.2	B